



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



1 開催基本構想とは

両大会の開催準備および大会運営の取組や両大会終了後のレガシー創出の方向性を取りまとめた「開催基本構想」を令和元年5月に策定したもの。両大会の一年延期に伴い、開催年にかかる記載などについて、令和3年3月に一部改正した。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

開催基本構想



湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

令和元年（2019年）5月 策定

令和3年（2021年）3月 一部改正

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

【基本方針】

- ・ 次代を担う人育て
- ・ 活力に満ちた真心通い合う郷土づくり
- ・ 全国から滋賀を訪れる多くの人との交流
- ・ 県民総参加により、夢や感動、連帯感を共有
- ・ 県民がより一層身近にスポーツを楽しむことのできる環境づくり
- ・ 健康・体力の保持増進と競技力の向上
- ・ 障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加
- ・ ふるさと滋賀の活力をさらに高め、将来にわたり持続可能な共生社会の実現

【実施目標】

- 1 滋賀をスポーツで元気にする大会
- 2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会
- 3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会
- 4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会
- 5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会
- 6 滋賀の未来に負担を残さない大会
- 7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

【取組】

- 7つの実施目標の実現に向けた取組
- ・ 開催準備の取組
 - ・ 大会運営の取組

【レガシー】

全国から多くの人々が集う『スポーツの祭典』を通じて滋賀の新たな時代の創造につながる『レガシー』を創出し、次世代へ継承

2 開催基本構想の進行管理について

毎年度、開催基本構想の進行状況等について、把握し、検証する。進捗状況の把握結果は、大会専用ホームページで公表し、進捗状況や課題等を広く情報共有するとともに、今後の開催準備や大会運営の検討に活用するものとする。



3 開催基本構想の進捗状況(概要)

令和5年度における主な取組の進捗状況は以下のとおり。

実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会

- ・メインスタジアムとなる平和堂HATOスタジアムが完成するなど、それぞれの整備計画等に基づき競技会場となるスポーツ施設の整備を推進し、スポーツ活動や健康づくり活動を行う環境づくりを進めている。
- ・両大会の運営補助を行う運営ボランティア等の募集を開始した。
- ・寄附協賛に対する感謝状贈呈式、紺綬褒状伝達式を実施し、ホームページに掲載したほか、平和堂HATOスタジアムに寄附者名顕彰銘板を設置した。
- ・障スポのオープン競技4競技（SOバドミントン、ゴールボール、スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー）を決定した。

【平和堂HATOスタジアム】



【企業からの寄附協賛（感謝状贈呈式）】



実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会

- ・両大会イメージソング「シャイン！！」を活用した「国スポ・障スポ教室」を小・中学校で実施した。
- ・子ども・若者世代の関心を高めるため、開催2年前イベント等において、スポーツ体験を実施した他、この世代が参加するイベントで広報啓発活動を行った。
- ・SNSでは、マスコットキャラクターを積極的に活用し、ファミリー層に届くような情報発信に努めた。
- ・国民体育大会の本大会等に出場、帯同する育児期のアスリート・指導者7名に対し託児サービス料等補助を行い、優秀な選手・指導者確保に繋げた。

【国スポ・障スポ教室（豊郷小学校）】





わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



～3 開催基本構想の進捗状況(概要)

実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会

- ・ マスコットキャラクター、愛称・スローガンやイメージソングを積極的に活用し、鉄道駅を利用した大型広告、地域情報誌への広告掲載、ラジオCM、大会広報誌の発行、公式ポスターの制作等、両大会の広報に取組んだ。・ 企業・団体等に寄付・協賛、広報啓発に協力いただき機運醸成につなげた。
- ・ 広報誌への募金協賛記事掲載やイベントでの募金グッズ販売等、寄附協賛の推進を図るとともに、企業協賛物品のお披露目を行った。
- ・ 式典の基本的な考え方の1つである県民総参加の観点から、各プログラムや演出内容を示す式典実施計画を策定した。
- ・ 花育て教室の開催、啓発用種子袋の配布、花育てガイドブックの配布などを通じて、花いっぱい運動を推進した。

【鉄道駅での大型広告】



【花育て教室（草津市笠縫こども園）】



実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会

- ・ 大会文化プログラム実施要項を策定し、参加募集を開始した。
- ・ SNSキャンペーンでは、両大会の広報に併せて滋賀の特産品等を景品にするなど、滋賀の魅力を発信した。
- ・ 大会マスコットキャラクターを使用したポロシャツ、巻きずし、ストラップ、ぬいぐるみが販売された。

【666日前SNSキャンペーン】



【文化プログラムロゴマーク】





～3 開催基本構想の進捗状況(概要)

実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会

- ・ 2023特別国体では、スポーツ特別指導員やふるさと選手など新たに本県選手として出場した選手の活躍などにより、前年の大会を上回る成績を収めることができた。
- ・ 開催2年前イベントをはじめ、イベント等でスポーツ体験を実施し、スポーツ実践の機会を設けた。

【イベントでのスポーツ体験】



実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会

- ・ 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポMLGs宣言」を行い、CO₂排出量の削減等、環境に配慮した大会とすることを宣言した。
- ・ 選手や式典参加者等の負担軽減を念頭に、コンパクトでありながらも中身の充実した式典の実施・運営に向けて式典実施計画を策定した。
- ・ ローイング競技艇の共同購入について、開催4県（佐賀、滋賀、青森、宮崎）で協定書を締結した。

【わたSHIGA輝く国スポ・障スポMLGs宣言】



実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会

- ・ 開催準備・大会運営に係る基本方針・計画等は国スポ・障スポ共通のものとして策定した。
- ・ 一体的な広報として、県内各種イベントにおいて、大会マスコットキャラクターの活用、のぼり旗等の掲示、広報グッズの配布、競技体験コーナーの設置等により、両大会の周知PRを行った。
- ・ 手話・要約筆記ボランティアの募集を開始したほか、県内の大学、短大、専門学校（23校）に選手団サポーター養成協力校を委嘱した。

【イメージソング「シャイン!!」PV】



【ボランティア募集ポスター】



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ開催基本構想の進捗状況



4 レガシーの創出に向けて

開催基本構想において、7つの実施目標それぞれに、次世代に引き継ぎ、定着を目指すレガシーの創出について、方向性をまとめている。

実施目標	レガシー
① 滋賀をスポーツで元気にする大会	① 生涯にわたり健康でスポーツに取り組む滋賀の人々
② 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会	② スポーツで輝く滋賀の子ども・若者・女性
③ 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会	③ 連携・協働で伸ばされた「滋賀の力」
④ 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会	④ 魅力と活力にあふれる滋賀
⑤ 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会	⑤ 全国や世界の舞台で活躍する滋賀のアスリート
⑥ 滋賀の未来に負担を残さない大会	⑥ 持続可能な滋賀への貢献
⑦ すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会	⑦ 人がともに支え合う滋賀

レガシー2025創出推進本部の立ち上げ

上記の実現に向けて、部局を横断した施策の立案・調整を目的とした「レガシー2025創出推進本部」を令和6年4月に立ち上げた。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポは、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝く大会を目指している。両大会には多数の方々が県内外問わず参加され、滋賀県の魅力を全国に発信する大きなチャンスである。また、同じく2025年に開催される、大阪・関西万博のテーマとして、「いのち輝く未来社会のデザイン」があり、「輝く」という言葉を共通項にして、推進本部において、県民一人ひとりが輝く未来の滋賀に向けて施策を検討していきたい。

2025年を滋賀県にとって“輝く”豊かな未来をともにつくるためのレガシー実現に向けた節目の年に